

# HO YOG

## 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
【編集】 兵庫教区広報部

発行所

2013. 2 187号

### 公聴会で多くの意見を頂く

#### —全八ブロックを巡回—

昨年十二月七日、丹波ブロックを皮切りに始まった『平成二十四年度兵庫教区ブロック別公聴会』が西播ブロックを最終として終了した。

本公聴会は、昨年十一月に行われた組長会での様々な意見を織り交ぜながら①宗門の将来・本山本願寺の永世護持のために、六十年ぶりに改正さ

れた宗門基本法規とそれに基づいた新たな組織機構②宗門の全員が参画し、宗門の社会貢献を果たすために立ち上げられた「御同朋の社会をめざす

運動」(実践運動)③基本法規改正に伴い新たに制定された第四種賦課金と教区費の関係④賦課金算定基準となる護持口数についての説明が行われ



様々な意見を頂戴した(西播ブロック)

それに関しての意見・指摘や、様々な提案を頂戴することを目的として行われたものである。

年末年始での公聴会開催といったスケジュールにも関わらず、各組組長取りまとめの上、組の役員関係者の参加をいただき、スムーズに各ブロックの巡回は行われた。

会では、それぞれの地域での事情などをふまえた多くの指摘・提案をいただき、広く様々な立場・考え方に基づいた意見を頂戴することが出来た。

【各ブロック巡回日程・会場・参加人数】◆丹波(十二月七日) 氷上東組受樂寺／15名◆但馬(十二月十三日) 養父公民館／25名◆神戸(十二月十七日) 神戸別院／32名◆姫路(十二月十九日) 姫路市東市民センター／29名◆阪神(一月十八日) 阪神南組正光寺／21名◆東播(一月二十一日) 出石研修センター／23名◆岡山(二月二十二日) 岡山南組源照寺／17名◆西播(二月三十日) 揖龍西組徳行寺／42名



「心ここに在らず」に在らず、「他のことに心を奪われて、肝

心なことに心を集中出来ないこと」とある。心ここにあらざれば視(み)れどもみえず、と◆お聴聞している時、足がシビれだすと全然話が耳に入らない。足にばかり気がいつてしまう。歯が痛い時なんて、食事のおいしさが、ありがたさに気がつかない。心はすぐにいろいろな処へ飛んでいってしまう◆山口県のあるお寺に参らせていただいた時のこと。何となく御本尊に違和感をおぼえた。ご住職がニコツとしておっしゃった。「うちの阿弥陀さまは手を合わせて立っておられる。阿弥陀さまがいつも私たちよりも先に拜んでくださっている。慌ててこちらも手を合わせていたたく…」◆東井義雄先生の言葉に「拝まない者も おがまれている」とある。阿弥陀さまはいつも私のことを心にかけてくださっている。その私に「心ここ(阿弥陀さま)に在らず」では申し訳ない…。

神戸東組 圓光寺 長島唯乘

# ビハラー兵庫定例研修会

「老いや死を考える」―釈徹宗師を講師に―

## 釈師講演（抜粋）

現代社会は、それほど熱心に人に関わらなくても暮らしていける、そういった社会になりました。ただ、関わりがないで一生生きていけるかというところは、いかにない。

この前の震災で我々痛感した訳です。恐らくこれからの社会というのは『フェア&シェア』がテーマになると思います。

人間と同じ様に、社会も加齢していきます。日本はもう成長期を超えて成熟期になっています。

これは競争して勝った者が全部取るというのはあまり望ましくない。有るものを皆で分かちあう、グルグルと仕事とかお金をまわす、そういうタイプの社会を目指さないと、生きていくのにキツイ場面が出てきます。

その為に、趣味でも、仕事の関係でも、ビハラー活動においても、そういった身の丈に合った小

さなコミュニケーションに幾つも所属するというのがポイントでないかと思うのです。

それともう一つは、私に参加できる態度を養っていくことです。

## パストラルケア

ビハラー活動に関わる皆さんは、宗教という体験を通して老病死に関わっておられます。そこで大事なのは、『我々が漠然と持っている枠組みを揺らすこと』です。それが宗教の持っている力です。

これが何となく正しい、何となく良いと思っているのを揺らすことによつて、より良い取り組みとていうのが起こってきます。

韓国では国公立大学の病院の中に仏教徒の部屋、クリスチャンの部屋、儒教徒の部屋、無宗教の人の部屋と設けている。

仏間や祭壇があり、御祈りの場があり、そこで



スライドを交えての講義

患者も勤行に参加したり、話を聞いたり手伝いをしたりしています。そして、見ていると凄く患者の家族が利用しています。

普通、病院にはあまり家族が居る場所が無い。でも、韓国の病院は其々の自分の宗教の部屋に行つて過ごしたり話を聞いてもらったりしています。これを『パストラルケア』と言います。

これは宗教色を前端的に押し出したケアのやり方で、日本ではあまり良くないと言われています。スピリチュアルケアやグリーフケア等、宗教色を出さないケアが正しいといわれています。

もちろんこちらの方が多くが携われるので、モデルとしては優秀。しかし、

ずっと仏道を歩み仏法を聞いてきた人や、クリスチャンとして生涯を送ってきた人なら、パストラルケアの方が良い。

きちっとした宗教性・宗教様式を持ったケアの方が良い人は必ずいる。そういう意味では韓国のモデルは大変面白いと思います。

## 我々の本質

釈師が運営するグループホームにて……

認知症の方と共に過ごす中で、時系列も暑さ寒さの感覚も崩れる、息子の顔も判らなくなつたとしても、人前で恥をかかされたらきつちり後で具合が悪くなります。

自分の尊厳とはそこまでする。大事だと介護理論では言いますが、仏教の教えを戴く者には、なんと親鸞聖人のいう事はホンマやなあと思うんです。

どんな状態になつても自分にすがり『どこまでも自分というものを棄てられない』、自分を傷つけられたらきつちりと荒れる。それが我々の正体な

んですよね。

自分がいかにお任せしたいけるか、ここが分かれ道だなどという事が解つてきました。『お世話され上手』という態度・体質を養おうという事です。

かつては人にお世話したり、お世話されないと生きていけないコミュニケーションを我々作つていた。

ところが、人のお世話にならなくても、人のお世話をしなくてもいい社会を我々目指してきました。

そこでは人に迷惑をかけるなというのが立派な美德として確立していきましました。それは間違つた方向ではないと思ひます。一方で『現代人の傲慢』でもあります。

## 上手に迷惑をかける

産まれた時から首から下が動かない方のお話を聞いた時「自分は人に迷惑をかけないと生きていけない。だからいかに上手に迷惑をかけるか。上手に迷惑をかけるのは生きると知恵なんだ」と。

で、なるほどと思つて、

人に迷惑をかけずに生きていける。人に迷惑をかけたくないという事は、えらく傲慢な話だと思ひます。我々、この傲慢を見過ぎさない仏道を歩んでいく訳ですから。

現代人のテーマとして、いかに上手にお世話されるか、というのを考えていかなければいけない。

お世話され上手の人つて、基本的にあまりこだわらないという特徴があります。『自分の体を人に任すという覚悟』がある。

こだわりを無くすという事は『自分の濃度を薄める』という事です。

我々真宗は『仏のよび声にお任せしていく仏道』、凡人の歩む仏道です。

仏様にお任せしていくことの裏には、こだわりが無くなつていく、自分の濃度が薄くなつていくことであるはずなんです。

お世話され上手の道として、お任せ体質の様なものを考えていく、浄土真宗・お念仏の教えでそういうものを養つていたかどうかという方向はどうでしょうか？

## 過去帳開示問題から学ぶ —同朋講座講師が研修—



力強い話しぶりの小笠原師

二月二十二日、別院にて『平成二十四年度教区同朋講座講師研修会』が行われた。

本研修会は教区同朋講座出席予定者を対象に行われており、今回は小笠原正仁師（大阪教区天野北組西教寺）を講師に迎えて研修が行われた。研修会では、最初に教区発行の同朋リーフレットの改訂について説明がなされた後、小笠原師より『安芸教区過去帳又はこれに類する帳簿の開示問題について』とテーマに講義が行われた。講義では①過去帳とそれに類する帳簿は、門信

徒に関する個人情報であり、それを第三者に開示することは個人情報漏洩という意味において人権侵害であり、開示者の意志に関わらず『身元調査』への負担にあたる事。②法名を戴きお念仏する同朋は、同じ南無阿弥陀仏に救われていく。これが同朋運動としての『法名を戴いて生きる』ことの意味であるにも関わらず過去帳に差別法名が別記されていた。という問題から過去帳調査が行われ、その問題から学びを深めたにもかかわらず、未だに様々な問題が起きている背景には、同朋運

では？と現在の同朋運動の有り様に対する、反省・問題点が提示された。講義の後、今年度の同朋講座出席者を代表して、岩谷教授師（揖龍西組西法寺）・大西宝雲師（六栗組教専寺）より、同朋講座に出講しての報告がなされた。研修会の最後には、今回頂いた事例報告等をふまえ、教区としていくつかの課題を設定し取り組んでいくことで、今後の研修の内容をより深く充実させることが出来るのではないかとといった事等、貴重な意見を頂戴した。

動が真にその意味を持って僧侶の間に浸透していなかったのではなにか？また、過去帳調査からの三十年間で、同朋運動の意味・理念が学ばれていなかったのでは？と現在の同朋運動の有り様に対する、反省・問題点が提示された。

### 満堂の中でお取次ぎ —教区布教大会—

二月六日、別院本堂にて教区布教団主催による『第十一回布教大会』が開催された。

教区内布教使八名が出向し、丸一日かけてお取次ぎがなされる本大会には、今年も満堂の参加者がお聴聞に詰めかけた。

午後の一番外として出講した八木顕宣師は「沢山のお参りがあったことが純粹にうれしい。お取次ぎをさせていただく中で、領きをいただいたり

お念仏が出たり…。場所は違っても、人は同じ。いつも通りを心がけてお取次ぎをさせていただいた。また布教大会に限らず、ご縁があればお取次ぎさせていただきたい」と話した。

今回出講の布教使・講題は次の通り◆津守秀俊（神戸東組照光寺）「おたすけに自信あり」◆赤井智頭（阪神西組善教寺）「浄土のある人生」◆藤榮亮匡（淡路組宣徳寺）「いのちのつながりのなか

で」◆水杉悟史（多可組正圓寺）「真実の信心」◆八木顕宣（姫路南組最勝寺）「私に届くはたらき」◆谷川誠（神戸西組高松寺）「弥陀にまかせろ」◆岩田勝（播磨中組正願寺）「真実を追い求めて」◆多田満之（赤穂北組西光寺）「今を生きぬく」



真剣なお取次ぎ（八木師）

### 青僧会活動中! ～淡路島で会員交流会～



親子で瓦作り体験をしました。交流会となった。参加の会員は「泊りがけの交流会は会として久しぶり。会員間の懇親がより深まる交流会となり、思い出

二月十六日『兵庫教区青年僧侶の会会員交流会』が開催された。交流会は淡路島を会場に二泊二日の日程で開催。大人も子どもも楽しく参

に残った」と話した。今後の青僧会の活動として、今年六月に『真宗の三本柱』をテーマに佐々木義英師（本願寺派司教／滋賀教区）を講師に迎

えでの連続研修会を予定している。また、青僧会結成三十五周年記念行事に向けての協議が重ねられている。青僧会では随時会員を募集中（現在の会員数は百三十四名※賛助会員を含む）。また、会主催の行事には会員以外でも参加可能。

### 【問い合わせ】

☎〇七八・三四一・五九九九  
（教務所青僧会担当）

# 教区だより 3月・4月

## 3月

1(金)	仏教讃歌コーラスフェスティバル	10:30
2(土)	第一土曜仏教講座(武田晋師 山口教区萩組/本願寺派司教)	13:30
4(月)	布教同志会 第13回布教神戸大会	9:30
〃	常任委員会並びに教化団体・組織代表連絡協議会	13:30
〃	「御同朋の教学」構築専門委員会	16:00
5(火)	組長会ブロック長会	13:30
7(木)	別院仏婦定例法座(黒田真隆師 宍粟組)	13:30
8(金)	特法協役員会	16:00
〃	常備会	13:30
10(日)	第28回若婦人のつどい	10:30
〃	中仏集い会	
11(月)	保育連盟臨時総会	15:00
12(火)	寺婦研修旅行(13日まで) 京都・滋賀	
〃	本典勉強会(讃徳会 13日まで)	13:00
13(水)	近同推会員研修会 鷺森別院	13:30
14(木)	第6回各種法座出講予定者事前学習会	12:30
15(金)	別院常例法座(赤井智顕師 阪神西組 16日まで)	13:30
19(火)	別院春季彼岸会(森本覚修師 滋賀教区愛知下組 21日まで)	13:30

21(木)	青僧会役員会	16:00
24(日)	部落解放同盟兵庫県連合会 第54回大会 明石市民会館中ホール	10:00
25(月)	第155回定期教区会	10:30
〃	ビハーク 兵庫教区実践運動研修会	13:30
〃	ビハーク役員会	16:30
27(水)	年度末組長会	14:30
28(木)	総代会評議員会	10:30
〃	仏婦コーラス練習会	13:30
29(金)	門推幹事会	14:00

## 4月

4(木)	布教団団長・副団長会議	13:30
6(土)	第一土曜仏教講座 (貴島信行師 大阪教区東成組/龍谷大学文学部真宗学科教授)	13:30
14(日)	別院仏婦定例法座	13:30
15(月)	中仏集い会	
19(金)	別院常例法座(八木顕宣師 16日まで)	13:30
23(火)	仏教婦人会総連盟総会 本願寺	
〃	ビハーク総会	13:30
26(金)	ビハーク公開講座	14:30
〃	特法協総会・研修会	13:30
30(火)	布教団役員会	13:30

## 参拝者用トイレをリフォーム

～和式から洋式へ～



ウォッシュレット付になりました

この度、神戸別院にご参拝の皆様のご要望のため、かねてからご要望のありました参拝者用トイレの洋式リフォームを行い、一階から三階の男女トイレを洋式(ウォッシュレット付き)に改修(一部除く)致しました。今後、お寄せいただいたご意見・ご要望を基に、お参りしやすい別院を目指してまいります。

左記の方がご逝去されましたので謹んで敬弔の意を表します  
村上光子(赤穂南組真光寺前坊守) 平成二十五年二月二日 九十四歳  
眞能亮彦(姫路中組法恩寺住職) 平成二十五年二月十三日 六十一歳

二月二十三日現在  
【敬称略】

## 敬 弔

【開催要項】◆期日/毎月第四木曜日・十三時三十分～十五時◆会場/神戸別院◆参加費二千円(二年間)◆持ち物/式章・念珠◆対象者/どなた様もお越しください◆申込・お問い合わせ/兵庫教区教務所仏教婦人会担当

毎月一回、仏教讃歌を中心とした楽曲を練習しています。コーラスを通して交流を深めませんか?



## 事件解決に向け 私信箱を延長

昨年未より『兵庫教区内より発信された連続差別事件』の行為者特定の一つとして私信箱を設置し情報提供を依頼してまいりました。

当初想定していた以上に情報提供や反響があり、差別事件検証委員会では、行為者特定に向けた取り組みに賛同いただく方が多く存在することを確認でき非常に力強く感じております。誠に有難うございました。このことは、これまで宗門内で起こった差別落

書きや投書事件で調査はするものの特定には至らなかった現実や、行為者が名乗り出て意識改革を果たすということがなかった事への、はつきりしたNOサインであると受け止めております。

教区内の僧侶・門信徒がこの事件を検証し二度と同じ過ちを犯さないよう、私たちひとり一人が関心を持ち取り組んで行こうという願いであると重く受けとめさせていただきました。



個人情報もあり、ピントを外しています

定に取り組んでいきます。教区内の僧侶・門信徒の皆様のご協力をお願いいたします。なお私信箱の住所は、〒六五二〇〇九一神戸市中央区琴ノ緒町五十一丁目三信ビル四〇二一 期限は二〇一三(平成二十五年)年三月末日まで